

高山市消防フェスティバル 2026 にて自然災害への備えを呼びかけ

日本損害保険協会岐阜損保会（会長：中山 弘・三井住友海上火災保険株式会社 岐阜支店長）は、2026年6月21日（日）、岐阜県高山市で開催された「高山市消防フェスティバル 2026」において、岐阜県損害保険代理業協会（会長：松山 和由）と連携し、自然災害への備えの重要性について啓発活動を実施しました。

本フェスティバルは、高山市および高山市消防協会の主催により、高山市一之宮町のモンデウスパークで開催されたもので、消防団による消防技術発表、消防車・消火設備等の展示、地震の模擬体験など、多様なプログラムが行われました。

当日は、強風と小雨が混じるあいにくの天候にもかかわらず、約1,200人が来場しました。当会ブースでは、岐阜県損害保険代理業協会の森専務理事や熊木飛驒支部長らとともに、来場した親子連れなどに対し、自然災害に関するクイズの実施や、地震をはじめとする災害への備えの重要性について分かりやすく説明しました。また、近年被害が増加している悪質な住宅修理業者によるトラブルについても注意喚起を行い、トラブル防止のポイントを周知しました。

岐阜損保会では、今後も自然災害による被害軽減に向けた情報発信および、災害に便乗した不正商法の防止に向けた取り組みを継続してまいります。



<当会ブースの様子>



<地震模擬体験>



<消防車の展示>



<消防技術発表>